



せとまちだより

SETOMACHI-COMMUNITY NO24

令和3年11月24日(木)
瀬戸地域まちづくり協議会
香岐市芦辺町箱崎大左触924
080-8574-5853
発行責任者 前田 清信

掲示板を設置しました！

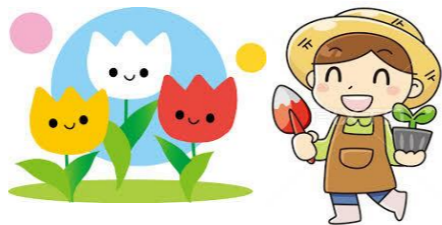
地域の情報を皆さんに提供するために、蟹田バス停に掲示板を設置しました。学校や皆さんの協力を得ながら運動会や学習発表会など小中学校の行事や地域のイベント写真、児童生徒の作品やお知らせなど展示していきます。蟹田に来られたついでに観て下さい。また、写真は貼りきれなかった場合は、箱崎漁協の掲示板もしくは、たるや商店のガラス戸に展示させていただくことがあります。同じものではありませんので、こちらも観てください。

掲示板の作品や写真を通じて地域のことに興味を持っていただき、まちづくりに参加していただけたらと思っています。



チューリップ400株 植えました

以前から整地していた瀬戸ポンプ所横の土地に11月13日(土) 9時からチューリップ球根の植付作業を行いました。赤・白・黄・ピンク・紫の五色で、春に咲いてくれるのを祈っています。また、ひまわりグループさんが少式公園に100株植付作業されました。



子ども部会からお知らせ

世代間交流 レクリエーションポッチャ大会をおこないます

日時 12月12日(日) 9時から (午前中)

場所 瀬戸小学校体育館

参加対象は 瀬戸小学校 3年生 4年生 5年生 6年生

※ 申込用紙は学校を通じて配付します

参加される方は12月7日(火)までに

申込用紙に記入して学校へ提出してください



「手洗い・マスク
三密をさける」



瀬戸幼稚園でハロウィン

10月26日瀬戸幼稚園の「ハロウィン」イベントがあり、カボチャの衣装など着た園児が、近くの駐在所などを訪問していました。



年少さん



年長さん



瀬戸まちハロウィン

10月31日はハロウインの日 瀬戸の中通りはキャラクターなどの仮装をした大勢の子どもたちで、久しぶりににぎわいました。(お菓子沢山もらいました)



お菓子をくれないと
いたずらしちゃうよ



双子ちゃんも参加



ハロウィンとは...

ハロウインは、古代ケルト民族のドルイド教で行われていたサウイン祭が起源と言われています。古代ケルトでは、11月1日が新年とされ、大晦日にあたる10月31日の夜に先祖の霊が家族に会いに戻ってくると信じられていました。しかし、悪霊も一緒にやって来て、作物に悪い影響を与えたり、子どもをさらったり悪いことをするといわれていました。そこで、人びとは悪霊を驚かせて追い払うことを思いつき、仮面をかぶったり、仮装をしたり、魔よけの焚火を行ったと言われていました。やがて、キリスト教圏へ広がりましたが、最近では、宗教的な意味合いが薄れて大人と子どもが仮装して楽しめるイベントになっています。

【ケルト民族・・・紀元前5世紀からヨーロッパ大半の地域に住んでいた。イギリス諸島やライン河口からピレネー山脈、北イタリアからスペイン北西部を巻き込む形で居住していた。】 ネット検索



小学生貯金箱コンクール作品展示中!

瀬戸郵便局のウインドーケースに、小学生貯金箱コンクール作品が展示されています。窓口に来られた方に、貯金箱で「いいね!」と思ったものに丸を付けてもらうキャンペーン中です。投票していただいた方の中から抽選でプレゼントをさしあげるそうです。

(残念ながらキャンペーンは11月26日迄)貯金箱は12月初めまで展示してあります。

みなさん、小学生の力作を観てください。お金がたまりそうな貯金箱ばかりです。



まとめて私たちは だ〜れ



平成2年



貴船神社

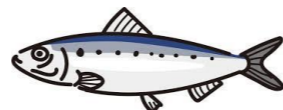


とっしゃんのひとりごつ

今月も下の話です。「学ぶ!災害時の避難生活 サバイバル方法」という研修で、トイレの話があり、「トイレットペーパーを1回につきどの位の長さを使っているか。また、長崎県は使用量ワースト3位だ」という話だったので、早速、ネットで検索。トイレットペーパー年間使用(1人当り)金額1位は佐賀県で1,710円51.8ロール、2位宮城県、3位長崎県1,603円43.5ロールという結果でした。47位は徳島県で1,125円27.5ロール、1位とは大分差がありますが、シングルとダブルなど紙質や〇〇〇の状態(軟い硬い)でも違うのではないのでしょうか。【総務省統計局「家計調査」「小売物価統計調査」2020年分を参照にまとめられたもの】

また、日本トイレ協会の調査では、日本人の1回あたりの平均使用量は80cm、小で平均66cm、大だと146cm(ダブルの場合)ちゅーばな。どのようにしち調査さしたっやろうか。この方が気になるばな。 ※ 皆さんにお願い!!身近に笑える話があったら教えて下さい。お礼はありませんが。

もっと知れたかせとんむかし … いわし網(昭和30年代)



下の写真は、西町の大村薬局さんから提供いただいたものです。アルバムには、瀬戸のいわし網の様子を知る貴重な写真が数枚ありましたが、その中の2枚です。

瀬戸のいわし網は、とれる時期があるかと思えばぱったりととれなくなったりしていたようです。

写真の昭和31年ごろは、船の係留棚も平和橋付近から妙見の定置漁業倉庫近くまで連なり、当時、瀬戸浦には大型で25隻船が保有されていて、いわしがとれると沖から大漁旗をなびかせて入港し、棚にはいわし抜きの女性が待ち構え、浜は活気に満ちていた。大漁旗は数量を表す目安であり、100箱を1本の単位にし、300箱で3本、それ以上は、何枚も大漁旗を立てていた時期もあったが、無線が各船に普及し、各船の魚の様子もわかり、漁協の無線局を通じていわし抜きの人夫を手配することができるようになったそうです。(瀬戸浦史参照)

